

事業所名

総和中央病院 児童発達支援事業所 はなもも

支援プログラム

作成日

2025 年

4 月

7 日

法人（事業所）理念	・私たちは、医療と福祉の連携による専門的支援を通じて、発達に特性のある子どもたちとご家族に寄り添い、一人ひとりの可能性を引き出すことを目指します。子どもたちとご家族が笑顔で過ごすことができ、「そのらしさ」を育むことができるように支援いたします。					
支援方針	・専門性に基づく支援（医学的根拠に基づいた発達支援） ・子ども中心の個別支援（発達段階に応じた支援） ・家族への伴走と協働（ご家族が安心して子育てできる支援） ・地域との連携支援（多職種連携により、子どもが地域の中で豊かに育つ環境づくり） ・安心、安全で温かな環境づくり（子どもが安心して過ごせる場の創造）					
営業時間	8 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・子どもが心身の健康を保ちながら、自立的な生活習慣を身につける：睡眠・食事・排泄など基本的な生活習慣の形成支援／絵カード・視覚スケジュールを用いた生活の見通しづけ 食具の操作練習（スプーンの持ち方、食器の扱いなど）／健康観察（疲労・興奮・低緊張など）に基づいた支援の柔軟な調整／着替え、清拭、手洗いなど身の回り動作の習得支援 （自立へ向けたステップ設定）				
	運動・感覚	・身体の基本的な動きと感覚統合を通じて、日常生活や遊びに必要な身体機能を高める：粗大運動（ジャンプ、バランス、身体の移動）と微細運動（手指操作）の両面への支援 感覚統合アプローチに基づく活動（回る・揺れる・触る・重いものを運ぶなど）／自己調整力を高める活動（感覚過敏／鈍麻への対応）／姿勢保持のための身体アライメント調整 （椅子や机の高さ調整など）／運動計画能力の育成（模倣・順序理解・空間把握）				
	認知・行動	・周囲の情報を適切に理解し、目的に応じた行動がとれるようになる：注意の持続・切り替え・選択的注意を促す個別課題／ワーキングメモリを育てる活動（マルチタスクの強化） 感情コントロール（興奮・怒り・混乱時の対応）を育む支援（SSTなど）／一貫したルールと構造化された環境（視覚提示・タイマー使用）／強化子の設定による行動変容支援				
	言語 コミュニケーション	・自分の気持ちや要求を伝え、他者とやりとりができる力を育てる：発語の発達段階に応じた支援／絵カード・ジェスチャーなど代替コミュニケーションの導入と拡張 語彙の拡大／他児との疎通性強化（質問と応答など）／絵本やごっこ遊びを活用した文脈理解の支援／言語聴覚士による専門的な言語支援が主体とする				
	人間関係 社会性	・他者と関わりながら、社会的ルールや人との関係を学び、所属感や安心感を持てるようにする：集団活動を通じた協働体験／社会的スキルの指導／「気持ち」のラベリング支援（自 分・他者の感情理解）／モデル提示やロールプレイによる対人スキル練習／他児との適切な関わり方を体験する支援／関係形成の成功体験（ほめられる・感謝されるなど）を積み重 ねる環境設定				
家族支援	・定時の個別支援計画や発達検査の説明時、また家族からの希望時に、医学的 カウンセリング等を実施している。	移行支援			・発達課題の解消時などに、適宜通所の終了を促すとともに、通園・通 学先や教育委員会との連携調整を徹底している。	
地域支援・地域連携	・通園および通学先への訪問支援や、各地域の教育委員会との連携により、就 学時および就学後の後方支援を徹底している。	職員の質の向上			・各職能団体への加入に際して、年会費や学会、研修会等の費用支弁に より、質の向上を積極的に推進している。	
主な行事等	・夏祭り、七夕祭り、クリスマスなど、四季の折々のイベントを、大切にしています。 また、通所児童の卒業（通所の終了）や卒園～入学時のお祝いを実施しています。					